

# 西内野コミュニティだより 8号

発行/西内野コミュニティ協議会 編集委員 2011.3



西内野で、恒例行事となって定着しつつある「もちつき大会」。お陰さまで今年の参加者は約400名と増え、もち米は90kg! あんこ15kgときなこ5kg、雑煮は600人分を作りました。

当日の運営には、一般参加者から手をあげてくれた方、西幼稚園や西内野小学校の職員に加え、内野中学校の中山校長先生も初参加で駆けつけてくれました。また、嬉しいことに中学生も今年は自主的にお手伝いにも人も手をあげてくれて大変助かりました。その先輩の姿を見て、小学生の子どもたちも「何かお手伝いしたい!」と言いに来ま

した。

このように、地域がひとつになり、この行事を行うことで子どもと大人、また地域の中での交流がより深まったのではないかと感じています。

平成23年度も行う予定ですが、皆さん是非いらしてくださいね。



## お手伝いの声

仲良しの友達とお手伝いができてうれしかったし、お餅とお雑煮もおいしかったです。また来年も参加したいです。

内野中学校1年 森合 梨緒さん

小学校にボランティアとして久しぶりに行ってとても楽しかったです。小学校でお世話になった先生方と再会もできたので、これからもボランティアとしてまた参加できたらいいなと思います。

内野中学校1年 安藤 希さん

おもちをのばしてちぎるのが楽しかったけどあとかたづけで机についたおもちをとるのが大変だった。

西内野小学校4年 八坂 彩矢さん

私は、雑煮の野菜刻みの手伝いをしました。昨年は食べる方だったけれど、今年は刻む方で、大変さがわかりました。いい経験になりました。

内野中学校1年 山岸 佳奈さん

## もちつき大会に参加して

新潟市立西幼稚園園長 白井智佳子

第三回目となる『西内野もちつき大会』に西幼稚園は初回から参加し、今回は、職員五名・親子八六名が地域の方とふれ合い、もちつきを楽しみことができました。中学の生徒さん・若いお父さんがお手伝いする姿も感動でした。私ごとですが、毎回「あいどりのやり方を伝授していただき、今年は独り立ちできました。地域の方のお陰です。地域再生や地域力の向上が求められている現代において、このように年代を超えて日本の伝統行事を楽しむ姿こそ、地域力に繋がっていくと思います。

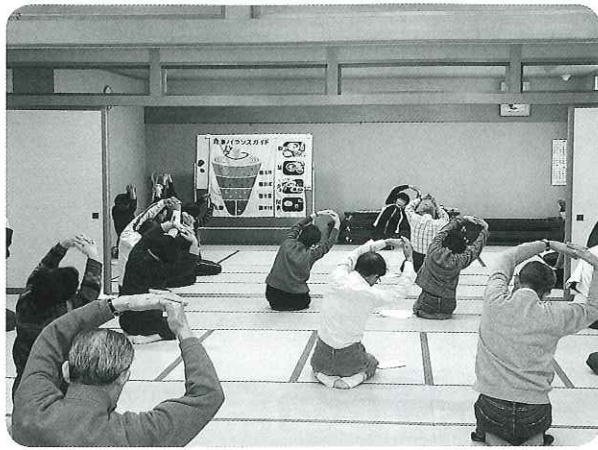
このような機会を計画・実施してくださった西内野コミュニティの皆様を始め、地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

いちから先輩方に教わりながらの、初めての楽しいもちつきでした。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

一般参加者 川土 健一



# ニコニコヘルスアップ(健康づくり)事業



昨年の9月25日(23名参加)と1月29日(24名参加)に実施した「ニコニコヘルスアップ」事業。この事業は生活習慣病の予防・悪化防止のため、自分の体を知り、食生活改善や運動習慣の定着につなげることを目的に西区健康福祉課と食生活改善推進委員のボランティアの皆さんのご協力を得て開かれました。

体組成計にて体脂肪、筋肉量、骨量等の組成を測定し各人に対しての説明と解説。そして、健康な体を維持するため、あるいは改善するための食事や運動・筋肉トレーニングについてわかりやすい説明や体を動かしての具体的指導を行いました。

健康な体づくりのために食生活の改善とウォーキングや筋肉トレーニングを3〜4カ月継続し、再度体組成を測定すると、どのくらい自分の体が改善(?)されたかがわかります。自分の健康づくりが家族そして健康なまちづくりに発展することを望みます。

## 参加者の声

体組成計というものに乗っただけで自分の体内バランスが一目でわかる。あら、若いわね。え、こんな?なんて一喜一憂しましたが、体内も食事もバランスが大事と言うことが良くわかった。定期的開催して頂きたい。

内野西新町 五十嵐 秀子

## 西内野わい愛クッキング



早寝 早起 朝ごはん推進事業 (西公民館共催)

### 「自分で作っちゃおう! 朝ごはん」編

7月に大好評だった「わい愛クッキング」第2弾を9月23日(祝)に行いました。今回は地域の食生活改善推進委員を講師にむかえ、子どもたちが、「自分で作れる朝ごはん」にチャレンジしました。

今回は「気分はイタ〜リアン モーニングセット」。平成19年度に実施した「おはよう朝ごはん・うまかコンテスト」親子部門入賞作品よりセレクトしました。工夫がいっぱいのメニューに参加した子どもたちから「おいしかった、家でも作ってみたい」と声があがっていました。

## 参加者の声

最初はどうも作れるか心配だったけど、最後はおいしくできました。家でも作ってみました。また作ろうと思います。

西内野小学校6年 細貝 綾香さん

カボチャのスープも、ひじきのオムレツも家でもう一度作ってみました。中2のお兄ちゃんからもおいしいと大好評でした。たいへん勉強になりました。またおいしいのがあったら教えて下さい。

五十嵐中島 細貝 みさを

### <メニュー>

- ・イタリアン・パンケーキ
- ・ひじきのオープンオムレツ
- ・か〜んたんカボチャのミルクスープ



### <レシピ>ひじきのオープンオムレツ 材料(4人分)

卵2個 豚ひき肉 100g 玉ねぎ1/2個 コーン40g  
ひじき(戻したもの) 10g サラダ油 小さじ1  
しょうゆ 小さじ1 こしょう 適量

### 作り方

- ①ひじきを湯通しし、水気を切る
- ②玉ねぎをみじん切りにする
- ③フライパンにひき肉を入れて炒め、ひじき、玉ねぎ、コーンを加えてさらに炒める
- ④しょうゆ・こしょうで味を調べ、皿に移してさましておく。
- ⑤ボウルに卵を溶き、④を加える。
- ⑥熱したフライパンまたはホットプレートに油を敷き、円形に両面焼いて食べやすい大きさに切り分ける。



## 市の23年度予算編成への要望事項とその回答

平成22年10月、西区区長及び各担当者に面接陳情。市の回答をお知らせします。

要望事項	市の回答
都市計画道路の早期完成 (1) 曾和・上新町線の早期完成 ①新中浜2丁目から国道402号まで ②国道116号から県道新潟寺泊線まで (2) 坂井・上新町線の早期完成	(1) 曾和・上新町線の①新中浜から国道402号の区間は、事業を進めているが、一部の地権者の合意が得られない状況。今後も事業の推進に向けて合意形成を進めていきたい。 ②の国道116号から県道新潟寺泊線の区間は、11月末に開通した国道402号新潟海岸バイパスと併せて事業効果の大きい①の整備を優先し、その後の交通状況をみながら必要性について検討していく。 (2) 坂井・上新町線については、多くの家屋移転が必要となり、早期の事業着手は難しい。交通状況をみながら必要性について検討していく。
海岸保全区域内の人工リーフ等整備	9月30日に県の地域整備局に要望をあげた。市長が国へ要望に行った際に関係部署に口頭で伝えた。 今後も、皆さんと連携をしながら、引き続き国県への要望していく。
県道新潟寺泊線の道路拡幅	都市計画道路としての整備は、JR越後線とは立体交差が基本であり、家屋が連担しているので拡幅整備は難しい。国道402号新潟海岸バイパスや内野上新町地内の曾和・上新町線の整備により、交通量が減少される。
県道新潟寺泊線と国道116のアクセス道新設 (パレットタウン西新潟から曾和・田島の集落まで)	中央環状道路の整備と、国道402号新潟海岸バイパスの開通による交通の流れをみながら検討する。
都市下水路の改修 (内野平和台～五十嵐中島地内～広通江川)	五十嵐中島地区の雨水対策として昭和53年に計画決定し現在に至っている。都市下水路という位置づけなので、できれば公共下水道の雨水計画の一つとして見直しを図り、抜本的な事業展開をしていきたい。 今の雨水計画では既得ということと広通江川への放流が許可しているが、本来この流域は旧広通江の流域で、排水先の変更のための河川協議が非常に難航し、計画は進んでいない状況である。どうにか公共下水道ということと河川協議を進めながら、抜本的な事業展開ができればと考えている。
内野西が丘駅舎内の公衆電話設置	NTT東日本からは、毎月2～3万円の収入がなければ設置は難しいとの回答。携帯電話が普及している中で、公衆電話の設置は厳しい状況ではあるが、要望については機会をみて検討をお願いする。
西内野地区に市の連絡所設置	新たな連絡所の設置は難しい状況。コミセンとか公民館などで書類の取り次ぎなどについて、全市的に今後議論することになってくると思う。

### その他、西警察署への要望

西内野地区は約2,900世帯、人口8,900人の住民が居住しています。皆さんが安心して生活できる「まち」にするため、この地区に交番の設置を要望しました。

## 平成22年度 西内野地区自主防災(図上)訓練の実施報告

今年の自主防災訓練は平成22年10月24日(日)9時30分より西コミュニティセンター2階ホールで開催しました。例年実施した一般の住民参加の訓練とは違い、図上訓練(DIG)とし、各自治会・町内会役員並びに西内野地区防火防災連合会役員約40名の参加で実施しました。

この訓練は初めての試みでもあり、西区役所担当職員の指導の下で訓練を実施しました。

### ◎訓練の内容について

- ①該当地区(第1地区から第4地区)の地域地図(ハードマップ)を用意する。
- ②地区(1地区10名参加)に分かれて用意した地図上に鉄道、主要道路、狭い道路、避難場所、水路、河川、災害時に危険となる場所。公的機関・施設など災害時の避難に必要な情報(被害想定、地域の人的・物的防災資源等の所在確認等)を決められた色塗り、またはシール・付箋を貼り図面を作成しながら情報を共有する。
- ③地区別に作成した図面を見ながら、課題や問題点の抽出、検討をする。(地域の特徴、災害に対する強み、弱みを確認等する)
- ④各地区の代表者により、その地区の問題点等を踏まえて成果発表・講評しあい災害時の対策並びに検討事項を共有する。

### ◎実施した結果について

今回は初めての図上訓練であり、開始時は参加者も戸惑っていたが、作業が進むにつれて目的も明確化して個々の情報・伝達もスムーズとなり、お互いの情報共有が出来たと思う。しかし、この訓練も数を重ねることが必要と同時に、いかにして一般住民に情報提供して行くかが今後の検討事項となる。





自治会紹介

内野西新町自治会

当自治会は絆を培いながら、住みよ  
いまちづくりを目指している五四二戸。  
西内野地区の主要地方道新潟〜寺泊線  
に跨って位置し、西区五十嵐中島四丁  
目、五丁目、新中浜、中権寺、内野関  
場の各一部を地域にしております。

自治会では「世界の宝・国の宝・地  
域の宝」の子どもたちを大切にして育  
成するため、毎年八月の第一日曜日に  
自治会主催「こども夏まつり」を開催  
しており昨年八月は第二六回目の「夏  
まつり」を実施しました。このまつりは  
自治会員の融和と絆を深めるため開催  
します。開催日の三日前から夜二時間  
位自治会の役員、会員、子どもたちが  
会館に集まり、山車につける絵を書き、  
たるみこしに花をつけてまつりの準備  
をし、まつりの日は役員、会員、子ど  
もたち総勢で三〇〇人位が午前九時こ



ろ集合し、山車一  
台、たるみこし二  
基を引いて、自治  
会の中を巡行しま  
す。巡行は昼に終  
わり昼食をとりま  
す。まつりの夜は  
午後六時三十分こ  
ろから自治会会館  
の空地で自治会主  
催の夜店を開催、

事務局から

二十三年度事業のお知らせ

明るく、楽しく、お年寄り  
や子どもにやさしい、住みよい  
地域づくりを目指し、各部で  
は、次の事業を計画しています。  
多くの皆さんから参加をし  
ていただき、地域の和と活力  
を盛りあげましょう。

- わい愛クッキング 六月
- 盆おどり大会 七月
- 夜間防犯パトロール 九月
- 防火・防災訓練 十月
- 親子もちつき大会 十二月
- コミ協だより 年二回発行  
月四回
- こぼとの会 月四回
- 区との連携事業 随時
- 高齢者対象の日帰保養旅行 随時

● 西内野コミュニティ協議会  
のロゴマークを現在検討中  
です。

金魚すくい、輪投げ、サツ  
カー、スーパーボールすく  
い、花火販売、不要品販売  
などして集まった子どもた  
ちと楽しんでおります。こ  
ども夏まつりは、自治会員  
の絆を深めるため、今後も  
続けたいと思っている自治会  
であります。

自治会長 小林 勇

西内野吹奏楽団発足に寄せて

上原 団地 納谷 伸司

この度西内野コミュニティ協議会の猪爪会長はじめ関係各位の深いご  
理解ご支援、熱心な音楽愛好者の皆様のご協力により西内野吹奏楽  
団がスタート致しました。新潟市は音楽とスポーツの都市宣言を行っ  
ております。当地区においても小、中、高の brassバンドや個々の音楽  
愛好家の活動は盛んです。音楽は子どもたちを活発にしますし(ちびっ  
子たちは踊り出します)年配者を元気にします。また音楽の盛んな  
地域では非行や犯罪が極端に少ないというデータがあります。音楽の  
盛んな地域に入るとその地域以外の人は空気にすぐ音楽を感じるとい  
います。私たちの地域に空気をも変えてしまおう音楽が絶えず響くこ  
とはとても素晴らしい事と考え西内野吹奏楽団を結成して地域の人  
たちにより地域に根差した音楽発信をすべきと考え提案致しました。  
企画が動き出した事を音楽監督と常任指揮者を兼ねる私は心から喜  
ぶと同時に日毎増していく地域の皆様の期待の大きさに正に責任の重  
大さを痛感しております。当面ひたすら行進曲を演奏し、ポップスや  
童謡、民謡、ゆくゆくはクラシックも演奏できればと考えております。  
アマチュア集団がここまでやれるのかとの他のコミュニティ協議会に対す  
るアピールやら、ひいては県内外からの視察の要請が発生する様なま  
でに高めたものです。まとめる人(指揮者)と  
団員の間で熱情が通えば必ず到達できます。  
引き続き、団員の募集と同時に大変厚かま  
しい限りですが、ご家庭で眠っている楽器がござ  
いましたら団に無償、無期限でお貸し下さる  
方ございませんでしょうか。団が地域の財産と  
なり得るべく、団員は日々精進し研究と努力  
を重ねてまいる所存でございます。それでは皆  
様と演奏会場でお逢いする日を楽しみに致し  
ております。



「サクソホン」パートの練習風景

編集後記

東日本大震災により、被災された皆様にご心よりお  
見舞い申し上げます。また、コミ協より見舞金をお送  
りしました。春のセンバツは新潟県から日本文理高校と佐渡高校の2校が出場し  
ます。楽しみます。県民のみならず日本中に感動を与えてくれるでしょう。(H・K)